

提案① 駅街一体の街づくりの推進

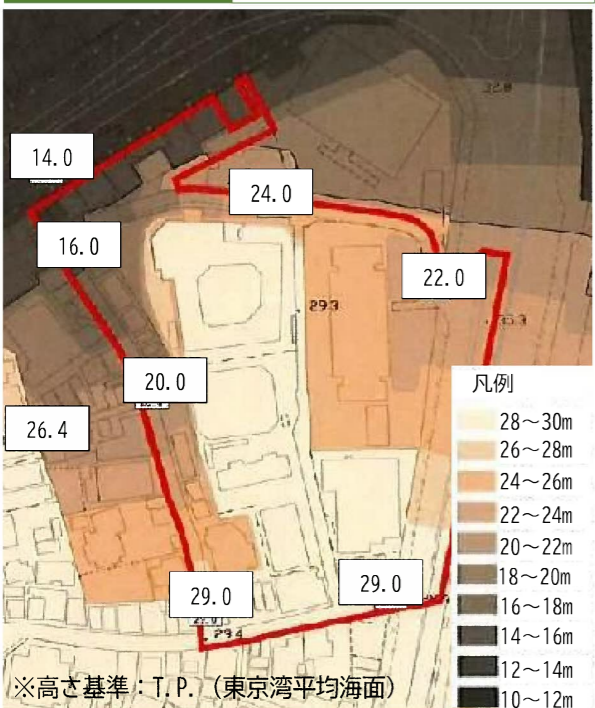
【従前の課題】

○計画地は台地部分と谷知部分に位置しており、計画地内で最大約16mの高低差があります。（図表1-1）
 ○そのため、西側市街地からの六本木一丁目駅利用者は、大きな高低差を上り下りするが、大きく迂回する必要がありました。加えて、北側市街地からの駅利用者は、六本木通りを横断するか、バリアフリーでない今井町地下歩行者通路を経由する必要がありました。（図表1-2）
 ○また、六本木一丁目駅には西口改札が無かったため、駅西側からの駅利用者は、反対側改札へ大きく迂回する必要がありました。（図表1-2）

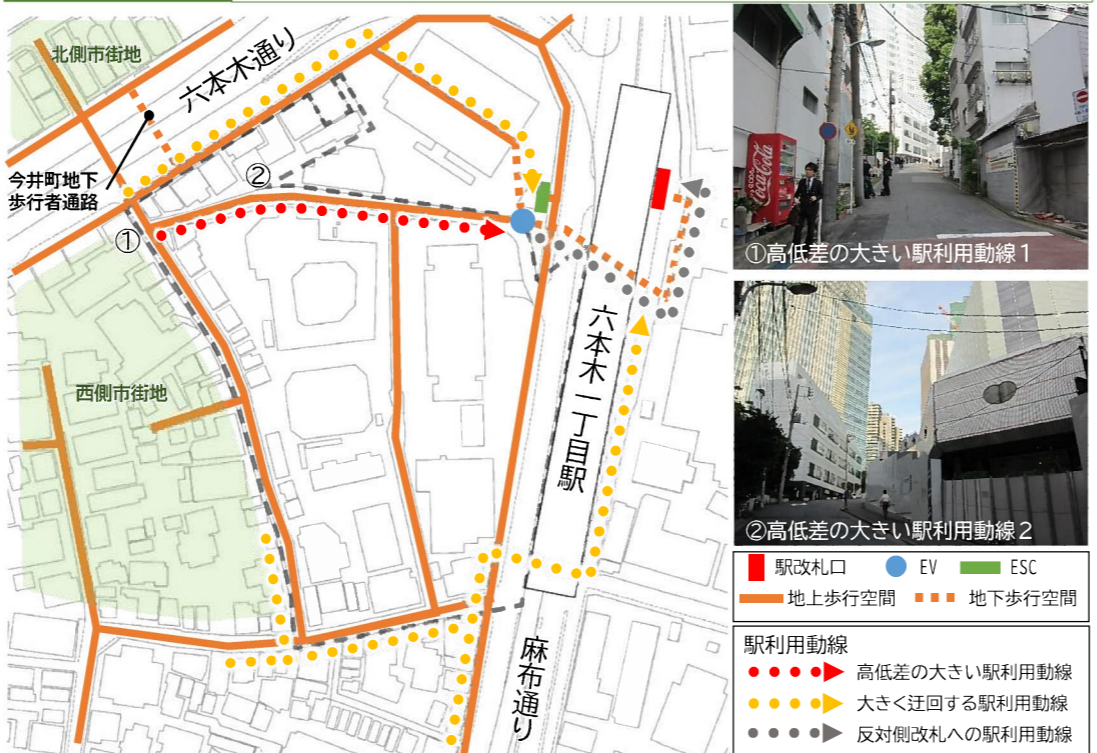
【取組内容】

○本事業でバリアフリーの地下鉄連絡通路を整備したことで、西側市街地から利便性の高い駅利用動線が確保されました。加えて、今井町地下歩行者通路を改修整備し、EVを設けたことで、北側市街地からバリアフリーで駅へアクセスすることが可能になりました。また、事業で駅西口改札を新設したことで、駅西側からの駅利用者は反対側改札へ大きく迂回する必要がなくなり、駅利用の利便性が格段に向上しています。（図表1-3）
 ○駅への経路だけではなく、歩行空間のネットワークを拡充したことで、駅周辺の回遊性を向上しています。（図表1-3）
 ○上記整備により、駅西側の市街地が抱える課題を解決するとともに、駅を中心とした東西のバランスのとれた市街地が形成されたことで、駅街一体の街づくりが推進されました。（図表1-4）
 ○アンケート結果を掲載します。

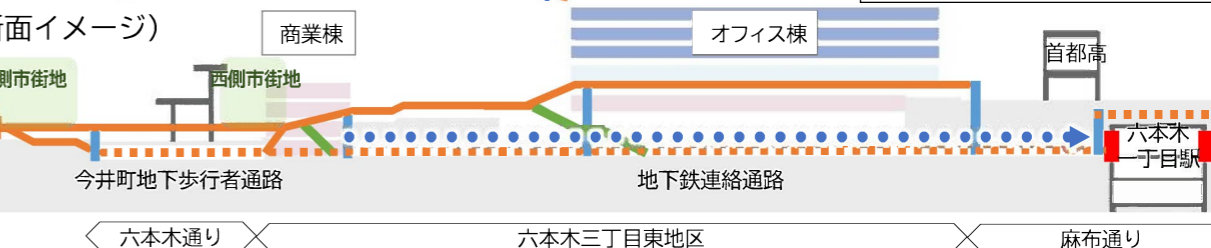
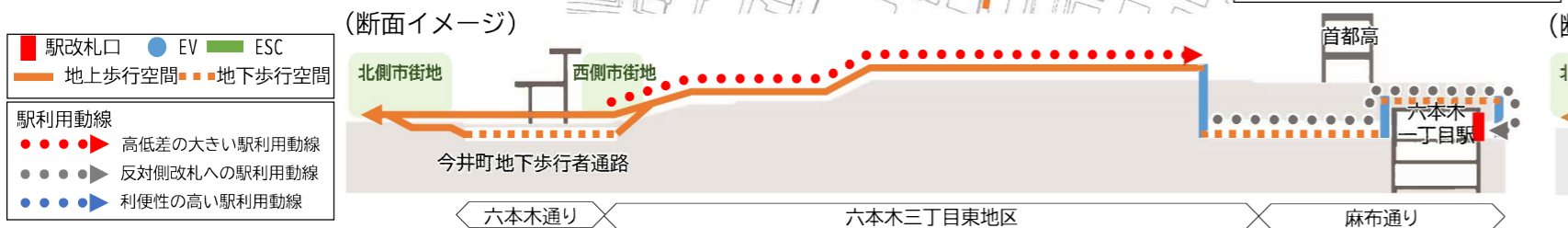
図表 1-1 計画地周辺の高低差



図表 1-2 従前の駅及び周辺市街地への動線



図表 1-3 従後の駅及び周辺市街地への動線



図表 1-4 従後の駅や周辺市街地へのアクセス



参考 アンケート調査結果

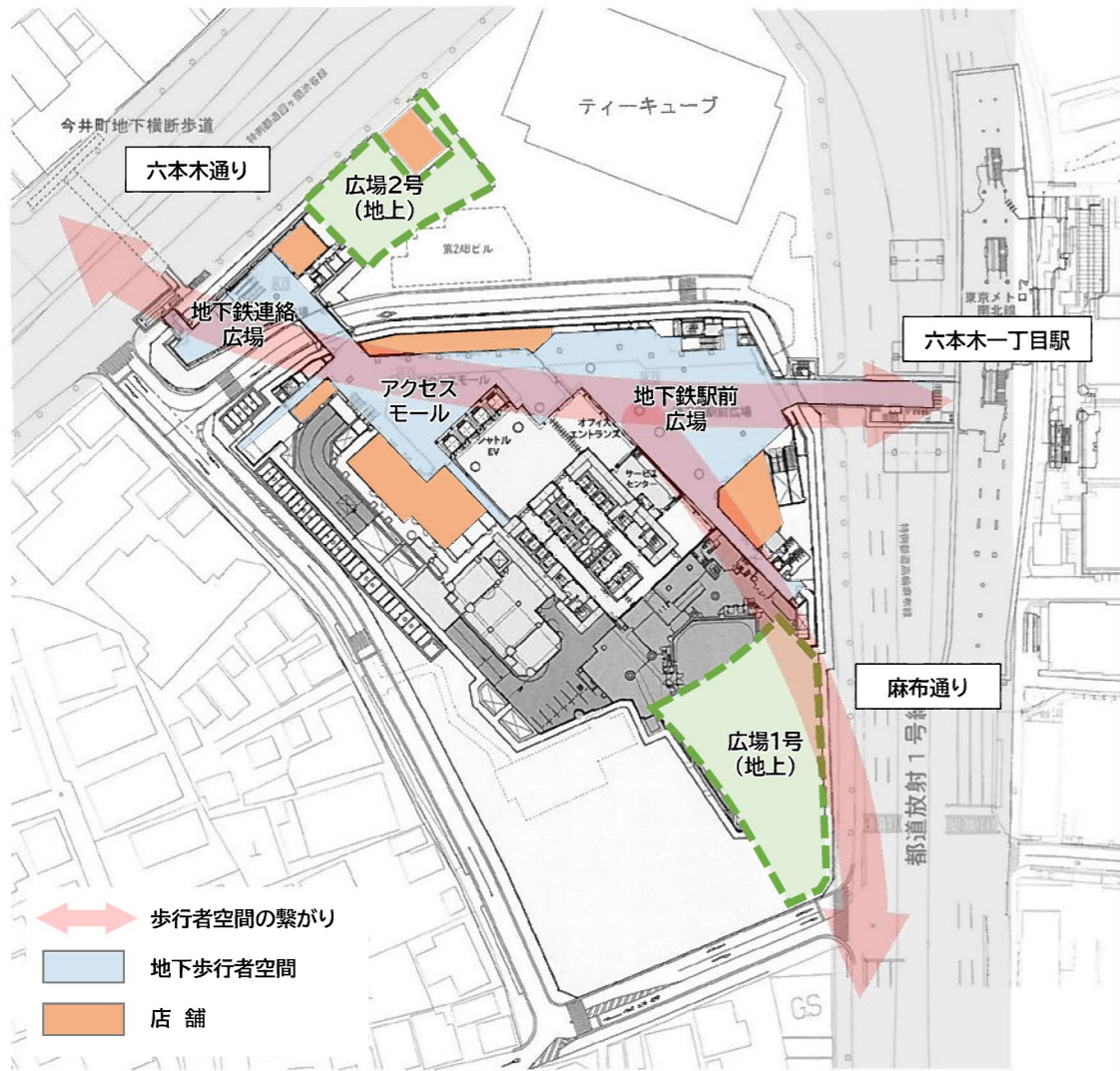
西口改札の利用頻度、地上出口までの経路の満足度等に関するアンケート結果を掲載します

■創意工夫・独創性など施行者が提案する評価項目・評価指標（案）

提案① 駅街一体の街づくりの推進

○本事業では、六本木一丁目駅西口改札前に地下鉄駅前広場等を設けるとともに、駅と六本木通り及び六本木通りと麻布通りを歩行者空間で繋げることで、駅前に求められるオープンスペースの軸を形成しています。（図表1-5）
 ○店舗に面して各広場やアクセスモールが設けられていることで、賑わいのある空間形成が図られています。（図表1-5）
 ○また、地下鉄駅前広場及び広場1号では、当地区内に本社を置く株式会社テレビ東京と連携してイベントを開催するなど、駅前の賑わい形成に取り組んでいます。（図表1-6）
 ○整備効果に関するアンケート結果を記載します。
 ○なお、当地区のイベントは、当地区と駅東側の泉ガーデンタワー等を含めた約6haの大街区「IZUMI GARDEN」として一体で管理、運営されており、駅を中心とした賑わい形成や、街の価値向上が図られています。（図表1-7）

図表 1-5 駅前の広場等のオープンスペース



図表 1-6 賑わい形成に寄与するイベントの実績

イベント名	開催実績
IZUMI GARDEN さくら祭り	2017年～2020年（計4回）
ロクイチイルミネーションクリスマス	2017年～2020年（計3回）
IZUMI GARDEN 防火防災フェア	2017年～2019年（計3回） ※2020年はコロナ禍で中止
IZUMI GARDEN 夏祭り！	2017年（計1回）

イベント満足度等に関するアンケート結果を掲載します。

■IZUMI GARDEN さくら祭り

IZUMI GARDENを桜で彩り、地域の賑わいを創出。和紙と光で造り上げる桜のオブジェを設置。テレビ東京とのコラボによるVR体験イベント等を実施。

■IZUMI GARDEN 防火防災フェア

地下鉄駅前広場でのパフォーマンスの様子

防災啓発のため、東京消防庁音楽隊等による演奏会等のパフォーマンスを実施。防災啓発のため、定期的実施。

■ロクイチイルミネーションクリスマス

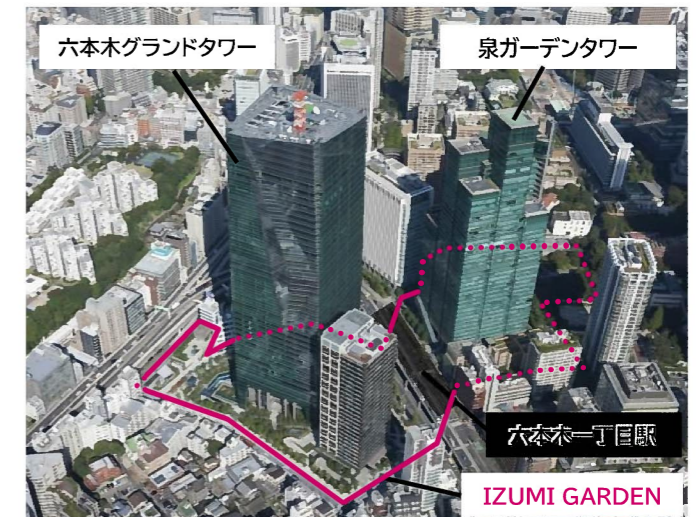
光と音のエンターテインメントショーと光るツリーにより、街区を訪れる人々を迎え入れるイベント。テレビ東京社員によるステージイベント等も開催。

■IZUMI GARDEN 防火防災フェア

広場1号(地上)での高所救助演習の様子

街区内だけでなく、周辺地区の居住者、就業者も対象にした防災の取組。防災体験会など、エンターテインメント性のあるイベントを実施。

図表 1-7 駅を中心とした大街区における管理・運営



■創意工夫・独創性など施行者が提案する評価項目・評価指標（案）

提案② 公的駐輪場の整備

【従前の課題】

- 計画地は六本木一丁目駅の直近に位置していることから、計画地内の道路には放置自転車・バイクなどが散見される状況にありました。（図表2-1、2-2）
- また、計画地周辺にはオートバイク駐車が3カ所あり平均稼働率が30%以上であったことから、駐バイク場の供給量はある程度満たされていましたが、駐輪場は不足している状況にありました。

【取組内容】

- 放置自転車の解消に寄与するため、附置義務基準で定められている台数とは別に、誰でも利用可能な駐輪場を100台分整備しました。（図表2-3）
- 月極区間の契約率は80%以上であることから、地域の駐輪場需要に応じているといえます。（図表2-3）
- 駐輪場は24時間開放・管理されており、年4回の精算機メンテナンスを行っているなど、適切な維持管理がなされています。（図表2-3）
- また、駐輪場の利便性を向上させるため、地上部に地下駐輪場への専用エレベーターを設置するとともに、駐輪場から地下鉄連絡通路を介して六本木一丁目駅へアクセスできる動線が整備されています。（図表2-3）
- 整備効果に関するアンケート結果を記載します。

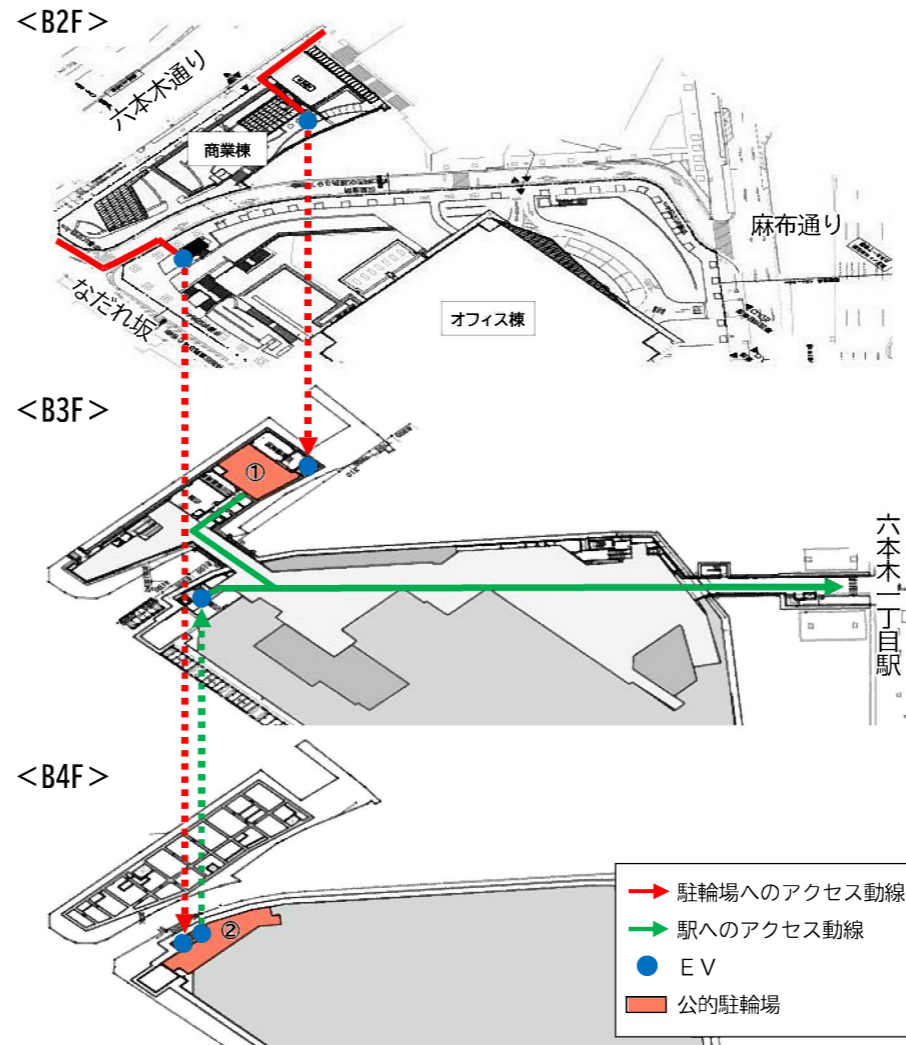
図表 2-1 従前の放置自転車の状況



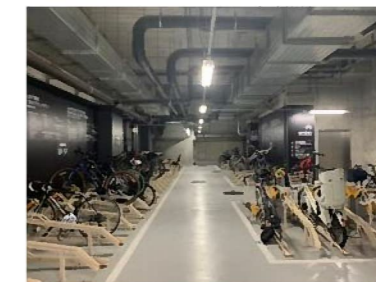
図表 2-3 公的駐輪場の整備概要

場所	駐輪台数	利用料金	利用状況 (稼働率、契約率)	管理体制	整備区分
① 商業棟地下部分 (B3F)	計	136台			地域貢献台数：65台 附置義務台数：70台 その他：1台
	月極	104台	2,000円/月	80%	
	時間貸し	32台	100円/5h(以後200円/2h)	20%	
② 業務棟北側地下部分 (B4F)	計	127台			地域貢献台数：35台 附置義務台数：90台 その他：2台
	月極	113台	2,000円/月	95%	
	時間貸し	14台	100円/5h(以後200円/2h)	50%	

(公的駐輪場の位置及びアクセス動線)



公的駐輪場



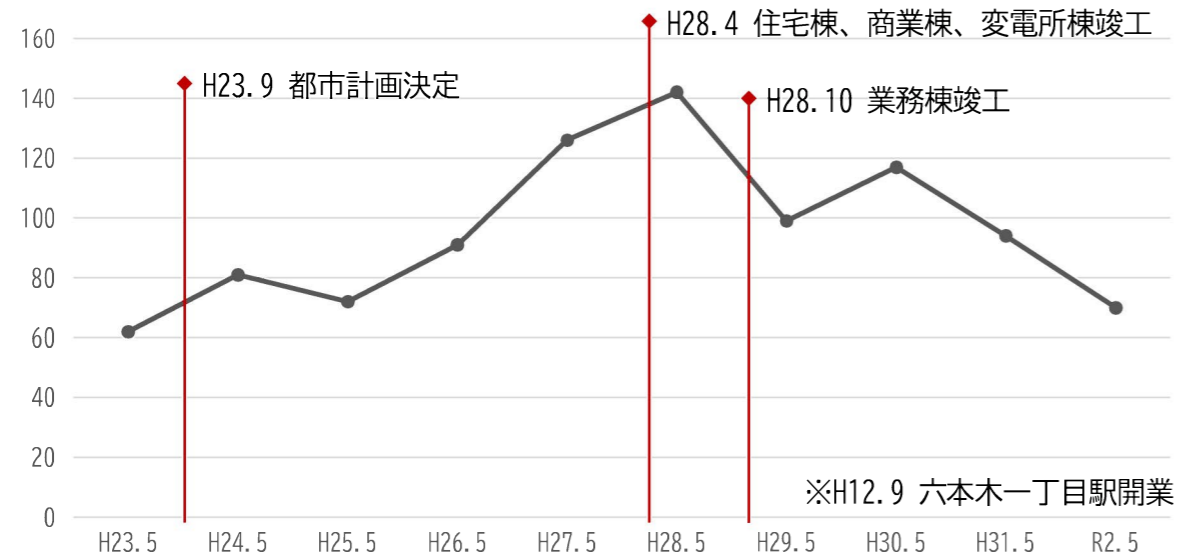
公的駐輪場専用エレベーター



図表 2-2 従前の放置自転車数の推移

六本木一丁目駅周辺 放置自転車等の数の推移 (台)

	H23.5	H24.5	H25.5	H26.5	H27.5	H28.5	H29.5	H30.5	H31.5	R2.5
六本木一丁目駅										
自転車	61	80	70	90	122	140	97	109	92	70
バイク	1	1	2	1	4	2	2	8	2	0
計	62	81	72	91	126	142	99	117	94	70



出典：港区街づくり支援部事業概要『港区の街づくり』

参考

アンケート調査結果

駐輪場整備に関するアンケート結果を掲載します。